

平成 27 年 9 月 北秋田市長定例記者会見

平成 27 年 9 月 2 日（水）13 時 00 分

市役所本庁舎 大会議室

1. 平成 27 年北秋田市議会 9 月定例会について
2. 第 15 回北秋田市縄文まつりにについて
3. 北秋田市地域おこし協力隊員の着任について
4. その他
 - ・ 秋田内陸線住民意識調査の実施について
 - ・ 9 月の行事予定

1. 平成 27 年北秋田市議会 9 月定例会について

本日、平成 27 年北秋田市議会 9 月定例会を 9 月 9 日に招集することといたしました。

今定例会には、「北秋田市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について」をはじめとする条例案が 8 件、補正予算案が 6 件、北秋田市と秋田県との間の行政不服審査会の事務の委託に関する協議についての単行議案のほか、報告 4 件、認定 23 件の計 42 件の提案を行うことといたしております。

概要につきましては、本で行われました議会運営委員会において総務部長から説明をさせておりますが、特に一般会計補正予算案について説明させていただきますと、既定の予算額に 4 億 3 千 6 9 8 万 7 千円を追加して、総額を 2 2 9 億 6 7 0 万 3 千円とすることとしたものであります。

歳出の主なものといたしましては、

○通話録音装置購入事業として、

27 万 7 千円

○病児・病後児保育事業として、

744 万 7 千円

○大館能代空港運賃助成事業補助金として、

600 万円

○マタギの里観光開発（株）経営計画策定支援補助金として、

86 万 4 千円

などを計上いたしております。

2. 第15回北秋田市縄文まつりについて

先月行われました伊勢堂岱遺跡の「夏休み限定の特別公開」におきまして、ジュニアボランティアガイドの皆さんによる案内やコンサートにより、見学に訪れた方々からは、大変好評をいただいたところであります。

私も1時間ほどジュニアボランティアガイドの案内で遺跡を見学してまいりましたが、マニュアルどおりの説明ではなく、自分の言葉で説明している姿に大変感心してきたところであります。今後、ジュニアボランティアガイドが誕生し、多くの皆さんに縄文文化や遺跡に関心を持っていただきたいと思いますと考えているところであります。

そして、今月も伊勢堂岱遺跡に関連するPRイベントを予定しております。9月12日（土）午前9時30分から、「第15回北秋田市縄文まつり」を北秋田市文化会館にて開催することとしております。

このイベントは、伊勢堂岱遺跡をPRしながら、子どもたちに遺跡に関心を持ってもらうよう開催しているものであります。駐車場では縄文体験青空教室として、「縄文土器づくり」や「まが玉づくり」、「火おこし体験」などの縄文人の生活を体験することができます。午後1時からは大ホールにおきまして「縄文音楽祭」が行われます。

最近の研究では、「ストーンサークルは歌や踊りが行われていた場所である」との報告もありますので、縄文音楽祭では当時のマツリを再現するため、縄文をテーマにした音楽や創作ダンスに取り組んでいる市内外の団体に出演いただくこととしております。入場は無料となっておりますので、ぜひお楽しみいただきたいと思いますと考えております。

3. 北秋田市地域おこし協力隊員の着任について

「北秋田市地域おこし協力隊」の募集につきましては、期間を延長して隊員の募集を行ってございまして、これまでに1名の方から応募をいただいております。

市では、応募いただきました方へ、面接や選考会などの審査を行った結果、10月1日から北秋田市地域おこし協力隊員として、ご着任いただくことに決定いたしました。

この度、ご着任いただきますのは、東京都板橋区在住の「九島千春さん（34歳、女性）」です。

九島さんは、秋田市出身の方でありまして、秋田市内の高校卒業後、東京都で接客業や事務職に従事しながら、ホームヘルパー2級や介護福祉士の資格を取得するなど、常に新しいことに挑戦するエネルギッシュかつ明るい性格の方であります。

勤務地は商工観光課となりますが、ご本人の志望動機にもありました「田舎の食文化」の掘り起こしを中心に活動をしていただきながら、「北あきたバター餅」に続く、新たな地域の宝の掘り起こしと、活動を通じて地域に活力を与えていただきたいと期待しているところであります。

4. その他

・秋田内陸線住民意識調査の実施について

秋田内陸地域公共交通連携協議会（会長：北秋田市長 津谷永光）では、去る8月28日（金）に北秋田市、仙北市在住の15歳（高校生）以上の方のうち、3千人を無作為で抽出して「秋田内陸線沿線住民意識調査」へのご協力のお願いと調査票を発送しております。

この住民意識調査は、昨年12月の秋田県議会第三セクター等の経営に関する調査特別委員会からの提言に基づき、秋田内陸地域公共交通連携協議会が、内陸線に関する利用実態を把握するとともに、内陸線の将来あるべき姿について、住民の皆様のお考えをお伺いすることを目的として実施し、今後の施策等の参考とするものであります。

調査の回答期限は、9月11日となっております。その結果につきましては、遅くとも11月中に発表する予定としております。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。